

浮田産業株式会社

あったらいいな を現実に。

"What do you wish for?" Make Your Dream Real



会社概要

- 代表者 ● 代表取締役社長 浮田 昌宏
- 本社所在地 ● 豊岡市
- 事業内容 ● 鞆材料卸 (YKK株式会社 正規代理店)
- 従業員数 ● 57名 うち障害者数3名
(知的障害者2名、精神障害者1名)
- ホームページ ● <https://www.ukitasangyo.jp>



障害者雇用について人事担当者にインタビュー



インタビューに答える
代表取締役社長の浮田 昌宏さん

障害者雇用推進のきっかけ・経緯は？

きっかけは4年ほど前に実習生を受け入れたことです。ちょうど会社としても障害者雇用に取り組む必要性が出てきた時期で、近隣にある「しいの実作業所」から実習生のご紹介がありました。断る理由もないので、今も働いている2人を迎え入れました。現在はさらに1人増えて全部で3人の方が働いています。

採用はどのように？

「しいの実作業所」から受け入れた2名は、当初2週間の職場体験を予定していました。ところが、そのまま「あと1週間続けてもいいですか?」となり、その後「もう少しここで働かせてもらってもいいですか?」といった具合に少しずつ期間が延びていき、最終的に「このまま雇用をお願いできないか?」となったわけです。もちろんご家族との面談も行い、障害者本人とご家族の意思を確認して採用することにしました。これは特殊な例ですが、その後ハローワークからのご紹介で面談・採用した方もいます。

採用された方はどのような職種に就かれていますか？

弊社製品である鞆材料、金具、ファスナーの加工、検品などを行っています。豊岡は鞆の町で、彼らが在籍していた「しいの実作業所」でも鞆づくりに携わる作業をしていたそうです。作業所の先生方も当社のことは以前から知っていたようで、早くから仕事に慣れてくれました。当初、本社工場と近くにあるTRUSPA(トラスパ)というファスナー工場を1年ごとに交代で異動してもらい、適正のある仕事を見極める予定でした。ところが思ったより早くそれぞれが得意な業務を見つけて、現場から「貴重な戦力なので、異動させないでくれ」と言われてしまいました。予想外でしたが、それぞれの持ち場で代えがたい役割を果たしてくれています。

また、ハローワーク経由で採用した方については、デザインやイメージ図の作成業務など、また違った分野で活躍してもらっています。



職場での中川さん

障害者雇用で感じたこと、今後の課題は？

昔の話になりますが、一人、車椅子の方を採用したことがありました。その時はこちらの認識が甘く、接し方もよくわからずいくつも失敗があり、短い期間で辞めてもらうことになってしまいました。その時の経験から、当社では障害を持っている方でも「ひとりの社員として、他の者と平等に接する」ことにしています。これは雇う側である会社の姿勢でもありますが、働きたい障害者の方に対しても、これまでと違い意識を変えて仕事に取り組んでももらうためでもあります。

例をあげると、4年前に採用した2人は、職場体験の頃からよく2人でケンカをしていました。こちらも面喰いしましたが、周囲が下手に介入することは最小限に抑えました。「ひとりの社員として」職場で他の人とどう接すればいいのかを覚えてもらうためには、自分たちで解決してもらうことが一番よいと考えたためです。

また職場体験の時は作業所の先生方が視察に来て教えたり、会社まで送り迎えをしてくれたりしていました。正式に社員となってからは、わからないことは自分で他の社員に聞いたり、会社にはバスを使って一人で出社してもらったりしています。もちろん一人でできないことは周囲がサポートに入りますが、まずは自分でやってみることを促しています。

もちろん雇用に関する全てが上手くいくわけではなく、サポートの方法や接し方がわからず失敗したことがあります。以前勤務していた別の障害者の方は、サポートを担当していた社員に過度な負担がかかり、周囲に上手く相談できない状態が続き、体調を崩してしまったことがあります。その後いろいろと対応を取りましたが、結局はその障害者の方に辞めてもらうことになりました。

雇用管理・サポート体制などで工夫されている事は？

先に申し上げた通り、可能な限り平等に接し、特別な体制はとっていないつもりですが、現場責任者が教育担当として作業の細かい部分を教えるようにしています。職場で話しやすい人や苦手な人というのは誰にでもいると思いますので、可能な限り彼らがコミュニケーションを取りやすい人を近くに配置するようにしています。

また職場で何かあった時は総務を通じてご家族の方と連絡を取れる体制を取っています。こちらからは職場の様子を伝え、ご家族からはプライベートの様子を教えてください共有しあうようにしています。その他、一人で通勤してもらうために勤務時間を朝は遅く、夕方はやや早い時間で区切るように調整しています。

最後に、これから障害者雇用に取り組もうとしている企業へのメッセージをお願いします。

強いて申し上げるならば障害者であっても一人の人として平等に接すること、でしょうか。少し違いかもかもしれませんが、当社のルールに「嘘はつかない、人の陰口悪口は言わない、自分と自分の大事な人の健康を大事にする」というものがあります。私のこれまでの経験を踏まえて作られたルールではありますが、私が社長を辞めた後も当社に引き継がれるものです。このルールと、一人の社員として働く、ということ「障害者の方にも」理解してもらい、意識をもって職場に入ってもらうことが重要だと思います。

勤務されている方へのインタビュー

いつからこの会社に勤めていますか？

（石田さん）この会社で働くようになって約4年が経ちました。その前は施設に通っていました。

（中川さん）私も同じく4年前から会社で働くようになり、その前はしいの実作業所で働いていました。



インタビューを受ける石田さん

どのような仕事に従事されていますか？

（石田さん）鞆に使われる金具の加工、検品や選別を担当しています。その他伝票の整理をお手伝いすることもあります。

（中川さん）ファスナーを作る際の引き手加工、スライダ一部分を通す作業、最後に検品もしています。

この会社に勤めて良かったと思う事は？

（石田さん）私がいる部署には10人ぐらいの社員がいますが、周りの人が温かく接してくれること、いろいろな作業を経験させてもらえることです。

（中川さん）私の働くTRUSPAの部署には18人ぐらいの人がいます。たくさん話をしたり、仕事を頑張ってきたりした時は楽しいと思います。

今後の自分への課題・目標などあれば教えてください。

（石田さん）ファスナーや金具のことをもっと勉強して、できることを増やしていきたいと思います。

（中川さん）これからも引き手加工やスライダー通し、検品の作業を頑張っていきたいと思います。